

諫早市教育委員会議事録
令和 8 年第 7 回（6 月定例）

令和 8 年第 7 回（6 月定例）教育委員会

- 1 日 時 令和 8 年 6 月 2 3 日（火）
1 6 時 0 0 分～1 6 時 5 0 分
- 2 場 所 諫早市役所 7 階 会議室 7－1
- 3 出席者 教育長 池田 尚
委 員 原田 裕介
委 員 山口 秀雄
委 員 中野 高子
委 員 小野 靖彦
- 4 会議に出席した事務職員
教育総務課長 池 政信
学校改革推進室長 青木 信高
学校教育課長 山口 隆
生涯学習課長 松原めぐみ
- 5 議 題
報告第 6 号 臨時代理の報告について（議会の議決を経る議案
についての意見の申し出について（財産の取得に
ついて（校務用端末購入）））
報告第 7 号 臨時代理の報告について（議会の議決を経る議案
についての意見の申し出について（「令和 8 年度
諫早市一般会計補正予算（第 1 号）中、1 1 款教
育費及び 1 2 款災害復旧費」））

議事録署名人の指名

山口委員と中野委員を議事録署名人に指名

議事録の承認

令和 8 年第 6 回（5 月定例）教育委員会の議事録について
質問・意見なし
原案どおり可決

教育長の報告の要旨

《教育長の報告及び報告に対する質問・意見》

先ほど市議会の一般質問が終わり、質問された方が全部で 20 人だった。議会は 3 の倍数月に開かれる。今回、その 20 人のうちの 14 人の方が教育委員会に対して質問をされ、いくつかかぶっているが、こちらの紙に書かれている項目について聞かれた。これからこの項目について何を質問されたか気になった項目について質問し、担当課長が答えるようにしたい。

[委員]

ネット犯罪 SNS 依存

[学校教育課長]

ネット犯罪 SNS 依存は、若者が興味を持って端末を持っているので、それに対する講習や講義、外部講師を招いての学習を定期的に行われているのか、という質問に対して定期的にやっていくことを明快に回答していただいた。

[教育長]

ネット犯罪についての質問のときは、どんな教育をしているのかという質問が多かったので、重要なのは児童生徒が自分のこととして捉える参加型と答えると、質問した議員さんの納得された顔が非常に印象的だった。

[委員]

自転車とは

[学校教育課長]

前回にも話したが、ある中学校で200人以上が連なって朝から自転車で来るのが大変危険であるとの意見が複数の議員さんからあった。ルールを厳しくするとか免許制度にするなど提案があったが、教育長からは、大人も交通ルールを守り、その姿を見て子どもたち自身が守らないといけないという気持ちになっていけばいいなということ。外からの縛りだけではなく、子どもたちの内からの変容を促すような答弁だった。

[教育長]

周りの大人が守らないのに子どもに守れとは言えない。市役所の交通安全研修を例にあげて答えた。警察の方が、法律が変わり横断歩道では車は止まらなければならないので歩行者の方もできればサインを出して欲しいと話していた。初日にその話をしたあと、市役所前の横断歩道を渡る職員を見ていたが、手を挙げて渡る職員はいなかったという話をしていたので、私はその日から約束して手を挙げることにした。歩くのがゆっくりな高齢者の方がいたら、私も手を挙げてわざとゆっくり渡り、その人が余裕持って渡れるようする。そのとき周りを見ても誰も手を挙げていない。守る大人を手本にしてくれればいいなと答えた。

[委員]

学校配置とは、

[学校改革推進室長]

学校の適正規模適正配置について、子どもが減っている中、学校の配置を教育委員会、市はどのように考えているのかという質問があり、今、会議を開き、自治会長や学校の先生含め、協議・検討をしていることを答弁していただいた。

[委員]

それが小長井学園に続いているということか。

[学校改革推進室長]

小長井学園に通学できる子どもたちの通学区域をどうするかという質問もあり、小長井地域に限らず検討することで答弁していただいた。

[委員]

それからコミュニティスクールに続くのか

[学校教育課長]

コミュニティスクールは少し違って、今現在の状況について質問され、ほとんどがコミュニティスクールに移行しており、それを生かしながら地域とともに、多くの人が関わって学校を作っていくという考え方を述べられた。

[教育長]

地域の人が学校に入って、みんなで学校を見るという意味合いがある。青少年健全育成に関連した質問もあった。

[生涯学習課長]

地域子ども教室に関連した質問だったが、子どもの生きる力を育むということと一貫して、地域の方が子どもを見ることについての現状と今後も増やしていくという答弁をした。

[委員]

子ども教室とはどんなものか。

[生涯学習課長]

放課後や土曜日に、学童に近いイメージだが、学校や公民館に子どもたちを集めて宿題や遊びを見守ることをその地域の方にやってもらっている。

[委員]

公民館でですか

[生涯学習課]

公民館や学校の空き教室・体育館が多い。

[委員]

先生ではなく地域の方ですか。

[生涯学習課長]

そうです

[教育長]

放課後に周りの地域の大人がみようという性質の事業で、こちらは教室と名前がついているので、いわゆる社会教育で、楽しく勉強をしながら過ごす。勉強でなくても将棋でも何でもいい。行っている教室が小学校で12校、中学校が1校。中学校は飯盛中学校で行っている。

学童保育はどちらかというところ保護の方で、放課後に親が帰ってこないの見守るところがベースにある。

[生涯学習課長]

中学校は、飯盛ふれあい会館で行っており、名称は地域未来塾という。

[委員]

利用者は多いですか。

[生涯学習課長]

子どもも増え、サポーターの方も少しずつ増えている。

飯盛ふれあい会館では、七夕の時期に七夕飾りをしたり、去年は絵馬作りなどをされている。

[委員]

学びの多様化学校

[学校教育課長]

長崎市に今回できている「のぞみ教室」と比較しながら諫早市でつくる考えはないかという質問に、教育長は不登校と絡めて多様な場所を用意しており、多様な人も準備している。学びの多様化学校が長崎にできたのでその現状をしっかりと見ていきながら研究していきたいとの答弁だった。

[委員]

NEXT GIGAと学習環境の整備の関連性は

[学校教育課長]

インターネットが学校に入って随分経つのでGIGAスクール構想から次へレベルアップしないといけない。例えば学力テストでは、全児童生徒が一斉にパソコンやタブレットを使ってテストを受けると遅くなるのでLAN回線をパワーアップするなどの対策が必要である。また先生たちも今、学校職員室でしかできないようなシステムの中で仕事をしており、出張の報告などは職員室に帰らないとできない状況なので、働き方改革とも繋げてシステムの改善構築を図っていくという話をされた。

[教育長]

GIGAの略は、グローバル（世界的な）、イノベーション（技術革新）、ゲートウェイ（入り口）、フォーオール（すべての）

障害のある子ども向けのものがあるかと質問され、オールなので「ある」と答えた。今17台ある。それで十分なのかという質問をされたが、1人1人障害が違うので、十分なのかと聞かれても不十分ですと答えるしかない。これから先どんな障害のある子が来るかわからないが、オールを強調したかった。

議 事

報告第 6 号 臨時代理の報告について（議会の議決を経る議案についての意見の申し出について（財産の取得について（校務用端末購入）））

学校教育課長 説明

《学校教育課長の説明に対する質問・意見》

[委員]

先生方も子どもと同じように 1 人 1 台か。

[学校教育課長]

正規の教職員は 1 人 1 台である。

了承

報告第 7 号 臨時代理の報告について（議会の議決を経る議案についての意見の申し出について（「令和 8 年度諫早市一般会計補正予算（第 1 号）中、11 款教育費及び 12 款災害復旧費」））

教育総務課長説明

学校教育課長説明

《教育総務課長・学校教育課長の説明に対する質問・意見》

質問・意見なし

了承

《学校教育課長からの報告》

- 1 就学援助費の認定誤りについて
- 2 学校訪問について

《学校教育課長からの報告に対する質問・意見》

質問・意見なし

その他

教育総務課長

7月の定例教育委員会の日程について

16時50分閉会